

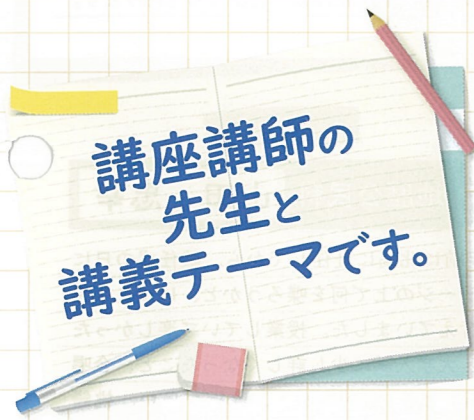
あかやま



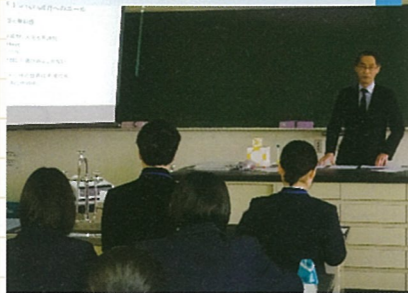
第 **306** 号
学校日より367号

「高志チャレンジセミナー」が開催されました

令和2年2月8日(土)に、松江市内3校(北高、南高、東高)主催の「高志チャレンジセミナー」が北高を会場に開催されました。午前中は、祈月書院と鳥取大学医学部の協力を得て、主に市内3校の出身で社会の第一線で活躍している職業人や研究者を講師としてお招きし、講演をしていただきました。午後からは、県内で先進的な取組をしておられる先生による授業(英語、数学)を受けました。当日は北高生22名を含む総勢61名の1・2年生が参加しました。



「激変する未来をどうしたら
生き抜くことができるか」



元農林水産省農林振興局長
賀重 重実 さん(北高S50卒)

「化学とは何か～化学メーカーと
ショッピングサイト運営会社での経験から～」



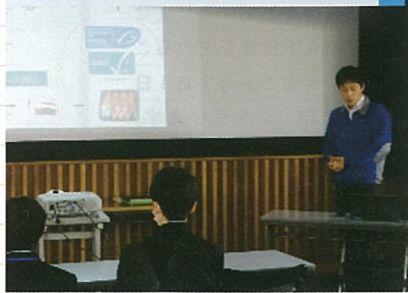
株式会社クラシコム
高尾 清貴 さん(北高H17卒)

「エコノミストの仕事って?」



株式会社大和総研経済調査部研究員
前田 茜 さん(北高H22卒)

「世界をフィールドとする
森林認証、水産認証の審査員」



個人審査員
小川 直也 さん(東高H8卒)

「医学に触れてみよう! 診療と研究、発見と
発明の違いとは!?～内視鏡研究の最前線～」



鳥取大学医学部附属病院
新規医療研究推進センター教授
植木 賢 さん

英語「論理的な文章を書く」



津和野高等学校 山根 幸久 先生

数学「身の回りの数学」



松江南高等学校 吉村 竜成 先生



理数科2年生課題研究発表会を開催しました。

2月6日(木)に、島根大学から4名の先生方をお招きし、理数科2年生が約半年をかけて取り組んできた課題研究の成果発表会を開催しました。どの発表も熱心に取り組んだことがうかがえる内容で、審査員の先生、理数科2年生からだけでなく1年生からも活発な質疑応答がかわされ、大変盛り上がった発表会となりました。

審査の結果、物理2班と生物1班が島根県理数科課題研究発表会に本校代表として参加し、今年度は2班ともに、8/18、19に大分で開催される中国・四国・九州地区理数科高等学校課題研究発表会の代表に選ばれました。

今回発表された内容のタイトル

- 数学1班 「天秤を用いて質金を特定するには」
- 物理1班 「粉と粉の織り成す模様」
- 物理2班 「水滴と水面」
- 化学1班 「過冷却水はどこまで温度が下がるのかpart2」
- 化学2班 「花火を還元して、もう一度楽しむ方法について」
- 生物1班 「ゾウリムシの繊毛の研究」
- 生物2班 「ゼリガニの学習能力と外部刺激に対する反応」



普通科1年生、普通科2年生 課題研究最終発表会を行いました

2月27日、本校第一体育館にて普通科1・2年生の課題研究最終発表会を行いました。

1年生は、「地域の課題を解決するために、2年生で取り組みたいこと」をテーマに普通科の生徒240名一人一人が紙芝居を作成しプレゼンテーションを行い(KP法)、聴衆にむけて、自分の言葉でいきいきと発表しました。普段なかなか関わることが少ない他クラスの生徒との交流の機会ともなり、生徒にも明るい表情が見られ、2年生へ向けてさらなる意欲が湧く発表会となりました。

2年生は、1年次最後に個人で提案したことの中から、「自分の未来・地域の未来をよりよくするプロジェクト」として、各グループでテーマを再設定し、フィールドワークを含め、協働して取り組んできた成果をチーム提案としてポスター形式で発表しました。

高校生にもできる具体的提案を実行した班もあり、高校生のアイデアが光る発表会となり、聴きにいられた地域の方も熱心に聞いてくださいました。

島根大学から高須佳奈先生を指導助言者としてお迎えし、他人や事象を批判せず、自分の中に前提や先入観はないかを疑う“クリティカルシンキング”の大切さや、そもそも現状と課題を考えると、「なぜ、その現状なのか?」を考えるとよい、というお話をうかがいました。



祝
全国大会
出場

将棋部

王将

第28回全国高文連将棋新人大会
令和2年2月6日～8日
福島県福島市
27R
大島 言葉さん

第14回全国高等学校囲碁選抜大会
令和2年3月21日～22日
大阪府大阪市
22R
永田睦咲子さん

※新型コロナウイルス流行のため大会は中止となりました。

転任者 ごあいさつ



今年度を終えるにあたり、紹介する教職員が異動することになりました。生徒保護者の皆様一言ずつ挨拶を申し上げます。

教頭 田中 正樹

昭和53年真っ白に輝く現在の校舎に最初の入学生として入学して以来、生徒、教諭、そして教頭として12年間の月日があやまの地で流れていきました。この校舎とともに過ごした日々を思い起こすたび、多くの思い出が脳裏をよぎるとともに感謝の思いがこみ上げてきます。あれから、40年あまり、校舎ができたときは時代の最先端である洋式便器を配備し、便器の使い方を知らない北高生のために使い方を示したのに、この間の時代の変化はすさまじいものがあります。やがて松江北高校の卒業生の数が松江中学も含めた全体の卒業生の半数を超えるようになります。校舎は古くなりましたがその中に息づく北高の精神は更に精選され次のステージに向かって発展しつつあるように感じています。夢に向かって努力し続ける北高生であってください。皆さんの今後のご活躍を心からお祈りします。頑張れ北高生！松江北高ここにあり！

体育科 中田 広貴

北高に赴任して4年間、一生懸命取り組む生徒の皆さんの姿をたくさん見てきました。黙々と学習に取り組む姿はもちろん、毎日遅くまで活動している部活動や、球技大会、紅陵祭、ロードレースなどの学校行事。先日は、初めて担任した生徒たちが、希望と不安を併せ持ちながら卒業していきました。入学当時の幼さが嘘のように。そんな皆さんの成長を間近で感じながら、4年間を共に過ごすことが出来て本当に幸せでした。

私自身、担任、部活動顧問、生徒会担当を経験し、たくさんの思い出が出来ました。ご迷惑をおかけしたことも多々ありましたが、支えてくださった保護者の皆様、先生方、そして生徒の皆さん、大変お世話になりました。4年間、本当にありがとうございました。

国語科 堀江 玲美

松江北高は私の母校です。ただし昔はそう思っていませんでした。地元では得られない刺激を求めて親元を離れ、松江に出たのです。私のふるさは雲南で、松江は大学へ向かうための通過点でした。教員免許を頂いた時、いつか松江にも……とは思いましたが、まさか北高が初任校とは全く考えませんでした。

当時のことが今は懐かしく感じられます。右も左も分からず多くの方々に支えられて4年を過ごし、ようやく「ここが母校」と思うことができます。松江を離れることが寂しく、お世話になった皆様に何も恩返しできないまま去るのが残念でなりません。

ただ去る前に、3年間担任した学年を無事に送り出せたことは心から嬉しく思います。今まで本当にありがとうございました。皆様のご多幸を、離れた地よりお祈りしております。

英語科 佐貫 仁美

北高は2度目の勤務で、今回8年間お世話になりました。振り返ると人生の節目を何度かここで迎えました。教員としてのスタートを切った場所であり、年月が流れ子育てをしながらの勤務をスタートさせたのもこの北高でした。時が流れ自分の生活は変わりましたが、変わらずそこにあったのは、生徒たちのひたむきに頑張る姿でした。部活動や学校行事、学習はもちろん、日常生活で見せる様々な一面に、いつも感動をもらっていました。一人一人が持つ可能性の高さにもいつも感心させられました。その姿に自分自身が励まされパワーをもらい、充実した日々を過ごすことができました。生徒の皆さん、感動をありがとう。保護者の皆様にも大変お世話になりました。ありがとうございました。

国語科 高橋 良子

思えば、私の北高生活は、教員として、皆さんの人生に関わる大人として、「自分がどうあるべきか」ということを考え続けた4年間でした。人生は日々【課題研究】です。「なんだかなあ」と思うことを愚痴で終わらせずに自分のできる範囲で変えていく、仲間たちと協力しながらどうにかしようとしていく、日々【課題研究】なのだと思えます。私は皆さんに【真のエリート】＝【自分のためだけでなく誰かのために自分の才能や力を惜しみなく使うことができる人】になってほしいと願っています。北高卒業生がそうなれば、島根が、日本が、世界が今よりもよりよくなっていくと信じています。「世界の人たれ、真のエリートたれ北高生！」お互いに、新しいステージで自分らしく【課題研究】していきましょう！これからも応援しています！ありがとう。加油！再見！

数学科 原 資子

4年という短い年月ですが、毎朝、松江城を眺めながら堀川沿いを通勤し、素晴らしい環境の中で過ごすことができたなあと思っています。

日々の生活の中で、私たちは様々な場面で選択・決断をして過ごしています。私は「こうなりたい」という自分を目指して、その選択・決断をしていきたいと思っています。北高の生徒のみなさんも、自分の将来や理想の姿を思い描き、それに近づいていくための選択・決断をしてください。そして選んだ道で頑張ってみてください。そのひたむきな姿を応援してくれる人はたくさんいるはず。みなさんの活躍を祈っています。

この4年間で多くのことを学びました。多くの方達にお世話になりました。今後の自分にかかっているよう頑張ります。今までありがとうございました。

国語科 田中 伸洋

「今だから思う」

前任校で3年担任をしていた9年前の3月11日、生徒たちが国公立試験の2次試験に出かけたその日、東日本大震災が発生、関東方面の受験に出かけていた生徒の何名かとは連絡が取れなくなり、幸いにも全員無事に帰ってきましたが、多くの大学で入試が取りやめになりました。そして、今、新型コロナウイルスの影響で卒業式が縮小され、部活動や日常生活にも多大な影響が出ています。普通に日常生活が送れることは、実は普通のことでありませぬ。だから、みんなには、変わらず日常を送れることへの感謝の気持ちを忘れず、今日という1日1日を本当に大切に過ごして欲しいと思います。その先に、きっと明るい未来が待っていると信じて。

地歴公民科 山田 忠幸

4年前に北高に赴任してから、離任式の日にはステージの上で何を喋ろうかと、けっこう頻りに考えていました。授業していて楽しかったこと、大学入試に少し詳しくなったこと、合唱部の全国大会、バイオリンは指が痛い、桃饅頭、白髪が倍増した、大國先生が心の友だったこと…等どんどん膨らんでいきましたが、最終にその日がやってきませんでした(笑)。

思い出に浸らず、この経験を次に生かします。可能性と秀でた能力を持ち、一生懸命努力する北高生諸君に会えたことに感謝しています。4年間ありがとうございました。北高がますます発展していきますように！

芸術科:美術 森山 恭

8年前に本校に赴任した時、長い歴史の威厳を感じ、背筋が伸びる思いがしました。お城がライトアップされていて綺麗ななあと感じたことが思い出されます。

私、西の方に住んでおり、毎日往復100キロ、行き帰りで計3時間かかるのですが、松江通いの総走行距離が20万キロ(地球5周分)を越えました。当初は「キラ多伎からお城まで毎日通うのかあ…」と、長い通勤を負担に思い、ネガティブな気持ちでいました。しかしこれではいけないと気持ちを切り替え、仕事ができることを幸せに思い、この学校で自分に出来ることは何かを考えるようになりました。

8年間、色んなことがありましたが、皆さんに支えられてここまでやってこれたのだと改めて感謝します。行動を起こすのは個々ですが、そこに至るには多くの方の支えあってこそ、物事は結局自分一人の力では成し遂げれないのだと改めて思います。本当にありがとうございました。

生きるこの意味や目的は抽象的なものかも知れませんが、生きること自体はとても具体的なこと、身近なことの積み重ねです。人生の意味・目的なんて最後まで分からないと思いますが、ここ北高で学んだことを生かし、次の学校でも頑張りたいと思います。

数学科 錦織 剛

早朝から学習に励む3年生の姿をみて、「今日も一日頑張るぞ。」とパワーをもらい続けた6年間でした。北高で最も印象に残っていることは、皆勤者の多さです。クラスのほとんどの生徒が呼名され、起立していく光景が、今でも鮮明に記憶に残っています。北高の魅力的な学びを象徴している場面でした。温かく熱心な生徒、教職員、保護者のみなさんと北高で過ごせたことに感謝します。

ありがとうございました。

地歴公民科 大谷 晃二

「瓦礫放光」

ある古代史研究者が「瓦礫放光」という言葉をのこしました。瓦礫とは、何の役にも立たないもの。遺跡を発掘して出てくるのは、ほとんどがこの瓦礫。しかし、どんな瓦礫でも、それを分析する考古学者と出会うことで、第一級の歴史資料として、光りを放ちます。人間も同じ。自分のもっている秘めたる価値を信じ、その魅力を引き出してくれる人との出会いを大切にしたいです。日本史の授業で好き勝手にしゃべりまくった北高の7年でした。ありがとうございました。

英語科 鎌田 愛啓

お世話になりました。自分の行っているクラスでは語源学習の宣伝をしてきましたが、学習の役に立っているでしょうか。有効活用してやってください。さて、北高はチャレンジできる環境を多種多様な形で生徒に提供してくれています。それは授業や部活、給食、高大連携イベントだったりしますが、皆さんはどの程度参加しているでしょうか。どれも新しい考え方や知識、体験、価値観をみんなが獲得するきっかけになっていると思います。北高の提供するチャレンジに本気となって向き合い、挑戦、成功し、あるいは失敗して自分の可能性を大きく広げてください。そして島根をリードする素敵な魅力ある大人になってください。またどこかでお会いしましょう。

事務部 右田 益子

事務室での勤務は、生徒の皆さんと直接接する機会は多くはありませんでしたが、それでもすれ違えばいつも元気なあいさつをしてくれました。その声を聞くと、きょうも一日元気で頑張ろう！という気持ちになったものです。

また、保護者のみなさま、先生方には面倒な手続きをお願いすることも多く、お手数をおかけしました。大変お世話になりました。楽しく勤務させていただいたことに感謝しています。3年間ほんとうにありがとうございました。